

長野県木曾青峰高等学校 平成29年度第2回学校評議員会 記録

日時 平成30年2月27日(火) 午後3時30分から午後5時05分

場所 木曾青峰高等学校同窓会館

出席者 学校評議員 同窓会長・同窓会長代行・木曾青峰高校定時制教育振興会長
日義小中学校長・前木曾町中学校長・木曾町木曾福島地区区長会長
学校職員 校長・全日制教頭・定時制教頭・全日制教務主任・定時制教務主任
進路指導主事・生徒指導主事・1学年主任・2学年主任・3学年主任
理数科主任・森林環境科主任・インテリア科主任

1 開会

2 学校長挨拶

3 学校からの報告

4 学校評議員からの質問・意見・要望等

(評議員) 木曾町文化交流センターで生徒が黙々と勉強している姿に感動している。「雪灯りの散歩道」は高校生の力が支えになっている。地域の行事に積極的に参加してくれてありがたい。定時制の生徒はアルバイトと学業を両立させている。アルバイト(職場)で大人から励まされ、自分の良さを見つける良い体験となっている。

(評議員) 郡外の高校に流失している生徒がいる。木曾青峰高校では、大学進学においてある一定のレベル以上を目指す進路指導をしているのか？

■現状では単に偏差値だけで考えるのではなく、「生徒が希望する大学」に入学できるように、また個々の力を伸ばすような進路指導をしている。来年度入学生から大学の入試制度が大きく変わるので、探究的な力をつけることも大切である。生徒や保護者が納得できる進路実践を残せるよう努力したい。

(評議員) 修学旅行は金銭的に少しでも安く、また安全で実りのある旅行にしてほしい。発達障がいのある生徒が増えている。一人ひとりをしっかり見てもらいたい。

■職員が研修を受けたり、スクールカウンセラーと定期的に連絡を取るなどのシステム作りを引き続き継続していきたい。

(評議員) 2月22日に行われた木曾郡内の企業研修会はどういうものだったのか？郡内の企業では求人をして人も集まらないという話を聞く。今後も実施されれば、企業を知るきっかけとなる。

■1,2年生の理数科・普通科の生徒を対象にして、郡内の3つの企業の話聞いた。大学などに進学しても将来的に戻って来やすいようにする目的もある。次年度も計画したい。

(評議員) 授業公開は今の高校生の様子を見ることができ、中学生にとっても中学校職員にとっても良い機会である。学科に応じた授業・活動内容で生徒が高校生活を楽しんでいる様子が見られる。その中から教育学部に進学し、地元に戻って来る生徒が増えると嬉しい。

(評議員) 電車でのマナーが問題になるが、実際乗車してみてマナーはしっかりしていた。授業公開日は、中学生が来やすい日に設定してもらえるとありがたい。

(評議員) 式典などに臨む生徒の厳粛な姿を見て、嬉しい気持ちになった。信州総文祭で、生徒が自信を持って生き生きと活動している様子を保護者の皆さんや他の生徒たちにも見てもらいたいと思った。このような生徒が木曾青峰にもいるのだと思うと明るい気持ちになった。生徒たちの活躍をこれからもPRしてほしい。

5 終わりの挨拶(校長)

6 閉会